

新川高等学校の取組について

学校名 新川高等学校

生徒数 279名

1 本校の取組の事例

① 中学校の制服譲渡会「制服が紡ぐプロジェクト」

3月10日 魚津市つばめ児童センター

本校の生徒会執行部が中心となり、着なくなった中学校の制服を集め、譲渡会の企画を行った。今年で3年目。生徒が作成した呼びかけのチラシを市内小中学校等へ配布し、市内4つの児童センターで制服の回収を行った。今年度は、制服以外にも体操服や柔道着、絵具セットなどの教材を出してくださる方もあった。譲渡会には、魚津市社会福祉協議会や国際ソロプチミスト富山-東の協力をいただいた。当日は同時にフードネーションにも挑戦し、事前に校内で呼びかけて集めた食品を来場者に配布した。SDGsの観点から気軽に来場する人もあり、明るい雰囲気の譲渡会になった。



② 中川用水清掃活動

10月12日 魚津市加積地区中川用水

本校の部活動生徒や生徒会が、地域の住民と一緒に用水の清掃活動を行った。当日は用水の水を止め、川の中に入って、ゴミ拾いや草刈りを行った。この活動は毎年行っており、地域の方との交流の場となっている。活動を始めた当初は、空き缶やペットボトルなどのゴミが目立っていたが、最近では、あまりゴミも見受けられなくなった。また、夏になると、時折、釣り人が訪れる川となっている。



③ 能登半島豪雨災害の募金活動

10月21日 市内ショッピングセンター

本校生徒会と保健委員会、JRC部が中心となって、能登半島豪雨災害の被災者支援の募金活動を行った。市内2カ所のショッピングセンターで募金活動を行い、89,272円が集まった。赤十字社を通じて被災地へ送った。



④ 赤い羽根共同募金

11月12日・13日 新川高校

本校生徒会が、朝、玄関前に立ち募金活動を行った。毎年の活動となっており、生徒会執行部が中心となり全校生徒に呼び掛けている。両日で集まった募金は、魚津市社会福祉協議会を通じて社会に役立ててもらっている。



2 親切運動に取り組んで

新川高校は、普段から地域と連携した教育活動に力を入れている。親切運動以外にも、生徒に地域社会に興味関心を持ってもらえるよう、様々な活動を地域とともにしている。このような活動を通して、地域社会の未来を支える人材が一人でも多く育ててほしいと願っている。